

請 願 文 書 表

長野市議会（平成24年12月定例会）

受理年月日	24. 12. 6	請 願 者	長野市大字鶴賀1774番地 新日本婦人の会長野支部 支部長 絹 川 千 代
受 理 番 号	36		
所管委員会	福 祉 環 境		
結 果	採 択		
要 旨			
<p>妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書提出を求める請願</p> <p style="text-align: center;">（ 請 願 趣 旨 ）</p> <p>妊婦健診の14回分が公費助成されたことで、「お金の心配をしないで健診を受けられる」と各地で喜ばれ、2012年5月、厚生労働省予防接種部会で3ワクチンの定期接種化の方針が出されたことも歓迎されています。</p> <p>しかし、妊婦健診も3ワクチンも国による公費助成が今後どのようになるか明らかにされておらず、財政力の弱い市町村での負担は更に増え、公費助成や公費接種事業が後退することが懸念されます。</p> <p>お金のあるなしにかかわらず、命と健康に差別があってはなりません。今年度で終了する妊婦健診の公費助成、3ワクチンの特例基金による9割の公費助成を来年度も引き続き継続、若しくは今年度と同水準の国負担による財政措置を求めるために、貴議会から国に対して「妊婦健診と、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書」を提出していただくよう請願いたします。</p> <p style="text-align: center;">（ 請 願 項 目 ）</p> <p>妊婦健診の14回までの公費助成と、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防の3ワクチンの公費接種事業を、来年度以降も、今年度と同水準の公費助成で継続してもらえるよう国に意見書を提出すること。</p>			